

## 新日本製鐵(株)八幡製鐵所 明賀所長 就任挨拶



「地域からの信頼が大事である」と語る  
明賀所長

新日本製鐵(株)八幡製鐵所では、4月23日、北九州市戸畑区の八幡製鐵所総合センターにおいて、4月1日付けで新所長に就任した明賀孝仁八幡製鐵所長の就任記者会見を行なった。

八幡製鐵所の明賀所長は、記者会見においてつぎのように挨拶を行なった。

皆さん ご安全に！ 私どもの挨拶です。八幡の勤務は、9年ぶりになります。正直申し上げて、非常に厳しい経済環境の中でこの製鐵所の舵取りをすることになりますが、ある意味このような時期だからこそ、やれる事、見える事もあると思っており、前を見て

しっかりとやって行きたいと思っています。

特にこの様な中で、力を入れたいと思っていることは、事業環境の変化に迅速に対応した商品力の強化です。当社は、鉄鋼製品の新たな価値創造を通じて社会に貢献して行くことを企業理念の一つに据えているわけですが、この八幡製鐵所は、鋼材性能において世界トップレベルの商品を数多く抱えています。例を挙げると、電力のトランスに使われる電磁鋼板や鉄道用のレール、また市村産業省・貢献賞を受賞したエココート®-Sと言われる燃料用タンクの素材などです。しかしながら、一般的に個々の商品の価値は、絶対的、普遍的なものではなく、需要家の意思によって決まり、同じ需要家にとっても、その時々々の事業環境の変化によっても評価は変わります。それを認識して、自らの商品価値を問い直していく、むしろお客様より先に潜在的ニーズを取り込んでいく努力をしなければならぬと思っています。

また八幡製鐵所は、昨年7月にコークス炉・ベルトコンベアの火災事故を起こしてしまい、地域の皆様にも多大なるご迷惑をお掛けしました。その対応も現在はしっかり行っていますが、それだけではなく全てにわたるリスクマネジメントにきちんと取り組んでいこうと思っています。その時、大事に思っていることは、先ず、あらゆる所にリスクが存在するわけで、それを感じた人が「このまま放置すると大変な事になるかもしれない」と言う事を、躊躇無く発信出来て、しかも相互に認識し合えるそうしたコミュニケーション環境を作っていくこと、これが私の仕事だと思っています。

特に、安全に関しては設備対策、作業の標準化を進めていますが、その職場に働く先輩と後輩、私どもと協力会社の皆さん、あるいは、発注者と請負者の関係の中で、真に心の通った意思疎通が図れることが鍵になります。所長として率先して取り組みたいと思います。

冒頭にも申し上げましたが、非常に困難な時期、量的には6割稼働という中で舵取りということになりますが、地域の方、需要家の皆さん、そして製鐵所の中で働く一人ひとりの方たちからの信頼を得られることを引き続き基本におきながら、所の運営にまい進していきたい。

と今後の抱負を述べた。



所長記者会見に臨む多くの報道機関